



AIDS



UPDATE

No.120 2016.9.21
☆☆☆☆☆☆☆☆

広島大学病院 エイズ医療対策室 内線5351
中四国エイズセンターホームページ URL:www.aids-chushi.or.jp

◆平成28年度 HIV抗体検査従事者のためのカウンセリング研修会報告

■ 臨床心理士 佐藤明日香

6月24日（金）に「HIV抗体検査従事者のためのカウンセリング研修会」が開催されました。今回は、医師・看護師・保健師・臨床心理士合わせて18名の方がご参加くださいました。

■ 講義①「HIV感染症の基礎知識」

講師 藤井 輝久（広島大学病院 エイズ医療対策室）

■ 講義②「HIV抗体検査相談における対応ポイント -サポーター・リスニング-」

講師 内野 悌司先生（広島大学保健管理センター 臨床心理士）

■ HIV陽性者のお話

■ ロールプレイ

講師 藤原 良次先生（特定非営利活動法人りょうちゃんず 理事長）

講義①では、藤井先生から「HIV感染症の基礎知識」についてご講演いただきました。講義の中では、参加者が疑問に思われそうな治療の現状や検査の流れなどについて、患者さんの様子も踏まえながら非常に分かりやすくお話いただきました。

講義②では、内野先生から「HIV抗体検査相談における対応ポイント」についてご講演いただきました。講義の中では、聴き方のポイントを具体的に示された上で、検査導入時・検査結果伝達時における聴き方や伝え方のコツを具体的にお話いただきました。

HIV陽性者のお話では、陽性と分かってから、これまでにご自身が体験されたこと、その時の思いを詳しくお話いただきました。告知当時の状況や、お気持ちを赤裸々に語っていただいている間、参加された皆様も頷く形でその思いに寄り添っていらっしゃるようでした。

ロールプレイでは、まずは藤原先生から「対象者に配慮したピアカウンセリング」の方法についてミニレクチャーが行われ、“ピア”の考え方や面接スキルのポイントについて具体的にお話いただきました。その上で、事例を用いたロールプレイが行われたため、実施後には沢山の意見交換が行われていました。

今回の研修会では、講義や陽性者のお話、そしてロールプレイと様々な角度からの学びの機会をいただきました。参加された皆様が、プログラムを通して学んだことを最大限に活かしながらロールプレイをされている様子はとても印象的でした。また今回は、県外からも多くの方がご参加いただいていたため、閉会の挨拶後も意見交換や情報交換をする場面も見られ、従事者同士のネットワークの広がりにも繋がる時間にもなったように思います。今後も皆様とのネットワークを更に広げられると幸いです。



◆第35回薬剤師のための抗HIV薬服薬指導研修会、 平成28年度第1回HIV/AIDS専門カウンセラー研修会の報告

■エイズ医療対策室 臨床心理士 杉本悠貴恵

7月30, 31日に『第1回HIV/AIDS専門カウンセラー研修会』を開催しました。この研修会は中国四国ブロックの派遣カウンセラーや拠点病院のカウンセラーとソーシャルワーカーが対象です。また、この研修会は「薬剤師のための抗HIV薬服薬指導研修会」と合同の研修会です。

プログラム

1日目

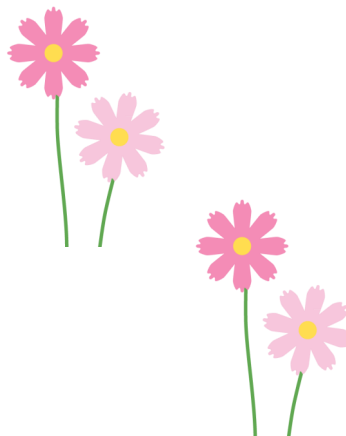
- 講義①「HIV感染症の治療」
講師 菊池 嘉先生（国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発センター）
 - 講義②「HIV感染者の心理～私の臨床から～」
講師 小松 賢亮先生（国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発センター）
 - 事例検討（心理士薬剤師分かれて）
 - 演習 「オリエンテーション」「ロールプレイによる服薬指導の体験的学習」
内野 悌司先生（広島大学保健管理センター）
- 夕食・意見交換会

2日目

- 演習「ロールプレイによる服薬指導の体験的学習」
講師 内野 悌司先生（広島大学保健管理センター）
- 事例検討（心理士のみ）

講義では、菊池先生から、HIVの基礎知識から抗HIV薬の動向まで幅広くお話ししていただきました。また、小松先生からはHIVの患者さんを他の疾患や問題など多角的に理解していくことなど多くのことをお話ししていただきました。

講義だけでも非常に多くのことを学べますが、この研修会の醍醐味は多職種で行う『ロールプレイ』です。心理、ソーシャルワーカー、薬剤師が一緒になってロールプレイの内容を考え、実際に演じ、検討を行います。実際、服薬管理ができていないことが自覚していない患者さんに対してどのように支援していくかといった1つのテーマでも意見を出し合うことでこれまで自分の中になかった捉え方やかわり方を知ることができ、さらに視野を広げることができました。この研修会に初めて参加しましたが、多くの方から刺激を受け、今後とも日々研鑽していこうと思えた2日間でした。



■福山医療センター 薬剤部 野村直幸

本研修会は前回に引き続き、今回で2回連続の参加をさせていただきました。私が感じる本研修の魅力的な所は、HIV感染症に関する知識が得られる事は当然ですが、それ以上に、参加者が全国の様々な施設から来られており、年齢も若い方が多く、コミュニケーションを取りやすい所です。参加した当初は不安でしたが、グループを作ったのディスカッションが研修の中に多く組み込まれており、その分だけ発言する機会が得られるので自然とコミュニケーションが取りやすく感じました。



また症例検討も初歩的なものから難解なものまであり、各グループにはアドバイザーがおられ検討中も気軽に質問できる雰囲気があるので、意見が飛び交い、私では思いつかない発言も聞け、理解も非常に深まったと思います。また、1日目の夜に行われる意見交換会や宿泊を通じてより密な人間関係を自然に作れた事は非常に嬉しかったです。

私は、福山医療センターでHIV感染症の担当をさせていただき1年足らずですが、いざ取り組んでみるとHIV感染症は全く知らなかった病態だからこそ始めて知った事も多く、勉強することに興味が湧いています。本研修を通じて学んだ事を日々の業務に活かしていけるように取り組んでいきたいと感じました。



◆第12回HIV/AIDSソーシャルワーカーネットワーク会議、研修会開催

■エイズ医療対策室 精神保健福祉士 村上英子

毎年恒例の中国、四国地方のソーシャルワーカー向けHIV/AIDS研修会を去年に引き続き岡山市で開催することが出来ました。21施設の拠点病院から25名のソーシャルワーカー（以下SW）と、療養型病院からSWと看護師、そしてこれからの福祉を私たちと共に担ってくださる地元岡山の美作大学から学生さんもご参加頂き、講師の先生方も含めて総勢38名で2日間共に学び、各地域の現状報告と、課題を議論し合いました。

今年、血友病薬害被害エイズ事件の裁判和解成立から20年という節目の年であります。1432名の被害に遭われた方々の悔しさ、苦しみ、不安、そして家族の方々のお気持ちを改めて振り返る機会として、当事者の声



を伺うべくNPO法人りょうちゃんずの藤原良次先生にご講演頂きました。病気を受け入れざるを得なかったこれまでの人生と、病気と共に療養していく将来の不安をどの様にしてSWが受け止め、地域との窓口になっていくべきなのかを問われる時間でした。続いて、本年3月に交付された『血友病薬害被害者手帳』を厚生労働省の医薬品副作用被害対策室の山田敏之先生からご講演頂きました。私たち医療、福祉のスタッフが現状から一歩二歩前に出た支援作りで直面した時に、間口を広げて相談に乗って頂ける体制を国が設けているという安心感を頂きました。

(次のページにつづく)

そして、今回のテーマ『地域ネットワーク作り・新規受入れ先の開拓』について、HIV陽性者の受入れ困難の現状に対して、スムーズに福祉サービスを提供する為に北海道で構築された『北海道HIV福祉サービスネットワーク』作りを北海道大学病院SWの富田健一先生よりご講義頂きました。北海道では、行政の方から協力させて欲しいという声がかかる程先駆的かつ効率の良い研修会の実施等で受入れ施設数を今も拡大され続けています。



二日目は拠点病院から療養型病院への転院受入れ要請から、受入れ準備までを双方のSWより、そして地域のSWを活用した連携作りの二事例をもとに丁寧にご講義頂きました。すぐに活用出来る対処方法として、SWの視点の置き方を学びました。SWに課せられる支援は、資源を開拓し、利用しやすくするシステムと人とのネットワークを構築することだと原点に戻られた二日間でした。

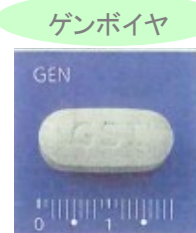
◆新しい薬が出ます

～副作用が少なくなりました～

新薬
情報

■ゲンボイヤ

エルビテグラビル、コビスタット、エムトリシタビン、テノホビルアラフェナミドの配合錠で、今までのスタリビルドより薬の大きさが小さくなり、副作用が軽くなったお薬です。



小さくなって、薄緑になったのわかりますか？



●基本情報

- ・一般名(成分名)：エルビテグラビル/コビスタット/エムトリシタビン
- ・略名：GEN (EVG/COBI/FTC/TAF)
- ・分類：シングルタブレットレジメン (STR)

●服薬方法

- ・服薬方法：1回1錠を1日1回
- ・服薬時間：食事中または食直後
- ・保管方法：室温

●主な副作用

- ・症状：吐き気、下痢、頭痛、倦怠感

●注意事項

- ・腎機能低下により処方変更される場合があります。
- ・慢性B型肝炎を合併している場合は、本剤中止後のB型肝炎の悪化に注意して下さい。
- ・B型肝炎治療薬(ゼフィックス、テノゼット)を服用したことがある人は必ず申し出てください。
- ・併用してはいけない薬や注意を必要とする薬があるので、併用禁忌・注意薬リストを確認しましょう。
- ・空腹時は薬の吸収が悪くなります。
- ・ミネラル(マグネシウム、アルミニウム、鉄、カルシウム、亜鉛)を含むサプリメントは本剤の効果が減弱する可能性があるため同時接種を避けましょう。

エイズワーキング



みなさん、こんにちは。
エイズワーキンググループです。

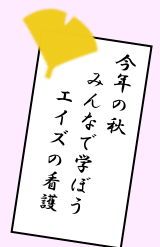
■学習会のご案内■

①実践センターHIV基礎知識

日時：9月28日(水) 17:30～18:30

場所：臨床管理棟2F1会議室

内容：HIV/AIDSの基礎知識、中国・四国
地方ブロック拠点病院の役割



②公開学習会「HIV陽性患者さんのケアポイント」

HIV陽性患者さんが病棟に入院されたときのケアポイントを教えてください！



学習会で一緒に学びましょう！疑問などあればぜひ私達に教えてください！

「HIV陽性患者さんのケアポイント」

～あなたの病棟に入院された時、

この講義がきっと役に立ちます！！～

日時：10月28日(金) 17:45～18:45

場所：臨床管理棟2F1会議室

内容：HIV患者背景への理解、医療対策室とワーカーとカウンセラーの役割について、体液曝露、ARTと内服管理、薬害患者の輸注、術前・術後の管理

対象：全職種

講師：山崎尚也医師(輸血部)、

杉本悠貴恵臨床心理士(エイズ医療対策室)